



みーた
MITA 通信
いなみ野ため池ミュージアム



発行 / いなみ野ため池ミュージアム
運営協議会事務局

- 〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木 97-1
- 兵庫県東播磨県民局水辺地域づくり課内
- TEL 079 (421) 9026 FAX 079 (424) 6616

いなみ野ため池ミュージアム 10周年記念事業式典 ～次代につなぐ水辺環境～

いなみ野ため池ミュージアムの取り組みを開始してから10年の歳月が経過し、その活動は11年目に入ります。

これまでの活動を振り返るとともに、今後のさらなる活動の発展を目指すため、平成24年11月18日(日)に加古川市の兵庫大学11号館で、

「10周年記念事業式典」

を盛大に開催しました。

当日は多くの参加者で賑わい、知事の感謝状贈呈をはじめ記念講演や、学生やため池協議会連絡会による活動発表などが行われ、ため池ミュージアムの“これまで”と“これから”について考えました。

※兵庫大学は、平成14年に第1回いなみ野ため池ミュージアム推進フォーラムを開催。ミュージアム活動の原点がある場所です。



10周年記念ロゴ



オープニング 環境アニメ紙芝居
「いなみ野ため池ミュージアム編」

メダカのコタロー劇団 公演

今回は「いなみ野ため池ミュージアム編」が初披露され、いなみ野ため池ミュージアムの取り組みを環境アニメ紙芝居として好演。



平成24年11月18日
兵庫大学11号館

東播磨のため池や河川に生息する生き物や水生植物の展示を行いました。

その他、水辺のパネル展示や、ふるさと東播磨の風景を撮影したフォトコンテストの入賞作品も展示しました。

同時開催！！ いなみ野水族園



映像紹介

いなみ野ため池ミュージアム10年のあゆみ



いなみ野ため池ミュージアムの10年間を映像とともに振り返りました。

主催者あいさつ

皆様、こんにちは。

振り返ってみれば、10年前、私がつめ池の活動をやっていると言ったらそれ何、みたいな事を他の地方で言われていました。

ところが、この協議会の活動に参加させていただくと、つめ池をこのふるさとの風景として、見ているという事だけでなく、その水の中には小さな生き物が生まれ、暮らし、命を繋ぐ。更に水の中の小さな命を求めて、昆虫や鳥がやって来て、大きな生態系を作って、地球の命を作っていく。その大きな流れの中に私たち人間の歴史、文化がある事がわかってきました。

水辺は、私たちは当たり前に見ている風景だけど、たどっていくと、すべての命を、それから歴史、科学、文学を育む源であるわけです。お陰様で私も随分と知識も増えましたし、色んな事もわかるようになってきました。

そして、これから何をしなければいけないかという事も見えてきているような気がします。つめ池がそもそも何の為に造られたか、これは、雨の少ない私たちのふるさと播磨で、天から落ちてくる雨を何とか逃さずに、人のくらしに使う事はできないかという発想から出来た、先人たちの知恵の編み出したものだったのです。

ところが、農業からだんだん人間が離れていくに従って、先人たちが苦勞し、血を流し、あるいは涙を流しながら築き上げてくれたこの土木遺産を、簡単に埋め立てたり、手放したり、過去に葬ろうとしている。そして、その中で営まれてきた、小さな水辺の生態系、命が巡る世界、それすら私たちは壊そうとしている、そういう事になるわけです。

私たちはもう一度、元に戻って、私たちはどこから来たのか、そして、どこへ向かって行くのかを考える節目が、今、ちょうど10年という年なのかもしれません。

私は、このふるさとに命と恵を受けて人生を築く。その恵というのは、水から生まれたものであり、水からもたらされた健康で、安全な食物を頂いて、未来を繋いでいくという事です。人間も、あらゆる動植物も、すべての根源は水から来ています。

今日は男性の参加者が多いですけども、男性方もかつては、お母さんのお腹の中の羊水という水の中に漂って、そして、この世に産声を上げたわけですね。

私たちがなぜ、水を守り、水を大事にし、そして、水を次の世代に送らないといけないのか、これは、壮大な歴史に立ち返る話だと思います。その壮大な歴史の中からいうと、10年なんていうのは、ほんの瞬きの間にも過ぎないのかもしれません。

でも、私たちが生きて、この地上で、美しいふるさとを次の世代にバトンタッチしていこうと思うのであれば、東播磨にはつめ池がある、つめ池の水のきらめきがあるということ、みんなに発信して、そして大事に私たちの心のふるさとの風景として、次の世代に送っていかないといけないですね。今日は、その決意も新たに、私たちが来た道を振り返り、そして、未来を見つめる為に一堂に会させていただいたのではないかと思います。

今日までの10年の活動を支えてこられたのは、もちろん、事務局の本当に地道な努力がありました。でも、いくら船頭が声をかけても、こうやって今日のように、集まってくださる皆様がいなければ、地元に着した地域の活動にはならなかったと思います。単につめ池を守るという事が、農業活動に繋がり、環境活動に繋がり、色んな活動に及んでいって、次は兵庫全域に広がろうとしています。これからの10年というのは、そういう所に目標があるのかもしれません。

私たちの小さな地域の宝物・つめ池。それを、日本全国の、そして、地球上の宝物にする。その第一歩が今日なのかもしれません。

まだまだ皆様、元気で活躍していただいて、私たちの人生よりも長く、この地球上にあるつめ池を大切に守って、分かち合っていたきたいと思います。本当にありがとうございました。そして、これからも頑張ってください。



いなみ野つめ池ミュージアム運営協議会 会長
玉岡 かおる

いなみ野ため池ミュージアム 10 周年ですが、私ども東播磨県民局も 10 周年を迎えました。県民局自体は以前からありましたが、平成 13 年の組織再編により、いわゆる現地解決型の総合事務所になりました。その際に、東播磨の地域を上げて、そして、県民局の総力を上げて取り組んでいく、言わば、メインプロジェクトとして、地域の皆様のご意見をお聞きし、このいなみ野ため池ミュージアムという取り組みがスタートしました。ため池ミュージアムの 10 年のあゆみは、県民局としても一生懸命取り組んできた成果として、私自身も誇らしい思いを致しております。これからの 10 年も、今日お集まりの皆様方の引き続きのご理解、ご支援を頂きながら、県民局として責任をしっかりと果たしていきたいと思っております。何よりも地域で暮らしておられる皆様方の自発的な、主体的な、そして地域を愛する活動が、このため池ミュージアムをなお一層、発展させていくと確信しております。



兵庫県東播磨県民局長
福田 好宏

知事メッセージ（県民局長代読）

本日は、「いなみ野ため池ミュージアム」が取り組みを開始してから 10 年の節目を迎えるにあたり、「10 周年記念事業式典」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

この間、東播磨では、玉岡かおる会長を代表に「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」の皆様方が、こぞってため池群や水路網の水辺空間を守り・活かし・次代へ継承するとともに、水辺を核としたふるさとづくりを進めてこられました。

取り組み開始以来、県民、団体、事業者、行政など幅広い主体が連携し、その活動は、ため池の維持管理や魅力発信だけにとどまりません。

水源となる里山の保全、ため池の栄養分の放流による豊かな海の再生、かいぼり（池干し）による生物多様性の保全、水辺を舞台とした環境体験学習など、多彩な活動が展開されています。まさしく、張りめぐらされた「水の路」に沿って広がる地域づくりです。

10 年の歳月を経て、「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」という体制は出来上がりました。しかし、基盤となるため池協議会に関係するため池の数は約 180カ所あるものの、東播磨の総ため池数約 600 の 3 割程度とお聞きしております。今後ため池協議会の組織化を進めていく必要があります。

また、持続可能な体制を築くために、個々のため池協議会も次代への継承がこれからの課題になってくると考えます。

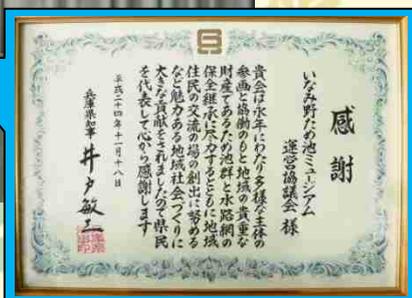
それだけに、協議会々員はもとより、本日も集まりの皆様には、それぞれのお立場から「いなみ野ため池ミュージアム」の取り組みを積極的に推進し、魅力ある地域づくりを先導していかれることを期待しています。

「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝でのご活躍を心からお祈りします。

平成 24 年 11 月 18 日
兵庫県知事 井戸敏三

知事感謝状贈呈

協議会の取り組みが県政に対して著しい功績があると認められ、知事感謝状が贈呈されました。



来賓あいさつ

来賓の方々を代表して加古川市選出の釜谷研造兵庫県議会議員(写真左)、加古郡選出の永富正彦兵庫県議会議員(写真右)よりご挨拶を頂きました。

来賓ご芳名

- | | | |
|---------|--------|----------|
| 兵庫県議会議員 | 山本敏信 様 | (高砂市選出) |
| 同 | 井上英之 様 | (加古川市選出) |
| 同 | 岸口 実 様 | (明石市選出) |
| 同 | 迎山志保 様 | (加古川市選出) |
| 同 | 伊藤勝正 様 | (明石市選出) |

記念講演：「ため池ミュージアムの“これから”」

端 信行 氏 (兵庫県立歴史博物館館長)

講演要旨

- ・近年の社会は、自然から文化まで、あらゆるものが「ストック価値」(蓄えられてきたモノの価値)を前提に動く時代になってきている。
- ・これまでは「残す」ことを重要視していなかったが、今では先人たちが残したものの価値を再発見し、活かす時代となった。
- ・いなみ野ため池ミュージアムは、その「はしり」であり、ミュージアム(博物館)の新しいカタチであるとともに、典型的な「エコ・ミュージアム」であり、地域が日々直面している様々な問題(都市・環境・農の問題など)に対して、総合的に解決し、連携を図るためのシンボルとなるべき。
- ・今後は、人とミュージアムからどういう作品が生まれるか、参加する人々が創造的表現活動をやっているか、芸術的な部分が大切になってくるであろう。ミュージアムのお祭りなどがあってもよいのではないか。
- ・ミュージアムのお祭りの運営などを通じて、人間は働くだけでなく、創造する喜びを持つ生き物であるということを忘れないようにしたい。

記念講演では「いなみ野ため池ミュージアム」活動に対し、
明日に向かっての強いメッセージをいただきました！！



活動発表・提言

兵庫県立大学 友延 幸太郎さん

里と海がそれぞれ抱える問題点に注目。明石のため池の栄養分を瀬戸内海に送る「豊かな海を再生するプロジェクト」に参加し、漁業者と農業者の連携のあり方を体験。

また、活動に対する評価を行うため調査研究を実施。

今回は、その一端を発表してくれました。



神戸学院大学 鈴木 晨平さん

都市近郊農村のよりよい生活環境のあり方をテーマに、加古川市西神吉町を中心に調査研究を実施。

また、自らの農業体験を踏まえ、農業を今後、いかに持続させ、活性化させていくかについて考え、そのための水辺環境がどうあるべきかについて発表してくれました。



国立明石工業高等専門学校

下崎 愛子さん 松田 将太さん 平岡 美由紀さん

ため池の水質調査、外来種の駆除、かいぼり、いなみ野フットパスのデザインなど、幅広い保全活動を実施。

また、明石のため池看板のデザインやため池ランドスケープ模型の制作に力を入れ、ため池の自然や歴史を次の世代に継承する大切さを伝えてくれました。



兵庫県立農業高等学校

田村 侑太さん 厚 翔汰朗さん

寺田池での「ぬばたま貝」の飼育実験、アカミガメの駆除など、これまでの活動の成果報告をとりまとめる。

3年ごとに寺田池の池干しを実施する目標を掲げ、高校生の視点から、ため池や農村環境の魅力、資源化を考え、今後の展望について発表してくれました。



明石市ため池協議会連絡会

構成団体：16 ため池協議会

会長：尾仲 利治

明石市では、「里と海の協働」に農業関係者、漁業関係者が力を合わせ取り組んでいます。

近年、海の栄養分低下にともない、のりの色落ち被害が深刻になっています。そのため、池干しを行った際にため池の栄養分を海に送り、豊かな海を再生する取り組みを行っています。

その結果、クリーンキャンペーンなどに漁業関係者の参加も見られるようになり、非常にありがたく思っています。

他にも、オニバス観察会やレンコン掘りなどを地域の方々と一緒に進めています。

しかし、いろいろな課題もあります。都市化が進みその中で、ため池の管理は大変難しくなってきました。

私たちは、先人が造ったため池を守り、次に継承していく責任があります。一つ一つ乗り越えていきたいと思っております。



高砂市ため池協議会連絡会

構成団体：5 ため池協議会

会長：生嶋 洋一

高砂市では、ため池改修事業やイベントに力を入れています。平成22年には北脇新池でかいぼり、クリーンキャンペーンを行い、かいぼり後にコウノトリが3羽飛来しました。また、鴻ノ池では整備が完了し、記念イベントを行いました。

平成23年には堂池ふれあいの里の整備を行い、ジョギング大会や花火大会を行っています。

平成24年3月には惣毛池の周囲に散策道を整備し、同時に桜を植えていただきました。そして同4月にはひょうたん池コウノトリ夢公園の整備を行い、完成後に子どもたちを集め、環境学習を行いました。

このように、市民の皆様にも親しんでもらえるため池の環境整備を行ってきました。

今後は次の世代に伝えていくべく、5 協議会の結束を深め、問題解決のために本質的な議論をしていきたいと思っております。

播磨町ため池協議会連絡会

構成団体：3 ため池協議会

会長：岡田 貞行

播磨町では現在、3つの協議会が活動しています。このうち、かがやきの北池コミュニティが行っている主な活動を報告したいと思います。

当協議会では年に4回のクリーンキャンペーンの実施をはじめ、毎年9月末に池干しを行い、魚のつかみどり大会を行っています。自治会の方、校区の小学校児童など、大変多くの方の参加をいただき、非常に楽しいイベントとなっています。

冬季には北池と野々池を移動して、バードウォッチングを行っています。何十種類もの渡り鳥が観察でき、自然の大切さを学んでいます。

狭小な町域に多数の人々が暮らす播磨町では、ため池は貴重な自然財産です。今後とも、水利関係者や地域住民が力を合わせ、ため池の保全活動に取り組み、次の世代に継承したいと思っております。

加古川市ため池協議会連絡会

構成団体：23 ため池協議会

会長：森田 透



加古川市では、それぞれ特色あるため池の中から3ヶ所を選び、その活動を紹介します。

兵庫大学に隣接する寺田池では、月に1回、町内会と自治会が集まってため池の清掃作業に取り組んでいます。回を重ねるごとにゴミの量・種類が減り、大きな成果をあげています。

永室の中の池は県内有数のジュンサイ生地で、毎年、新芽が芽吹く季節にジュンサイまつりを開催しています。今年は7月1日に開催し、参加者がボートやいかだに乗ってジュンサイを摘み取り、試食会を催しました。

西牧の犬立池は池レンコンが豊富に生育しており、毎年12月頃に池レンコンの収穫祭を行っています。

今回紹介できなかった協議会についても、日々努力していることをこの場で申し添えます。

稲美町ため池協議会連絡会

構成団体：14 ため池協議会

会長：藤崎 良平

稲美町では、それぞれの協議会がクリーンキャンペーンを行っています。協議会によってやり方は様々で、ため池周辺の草刈、ゴミ拾い、かいぼり等のほか、小学生に指導を行い希少種のアサザの保護と育成を行っている協議会、地域の方々の健康増進・地域間交流を行っています。

協議会活動の一つとして、協議会と各小学校区にあるため池を巡る、まちづくり桜ウォーキングについて報告します。平成21年度より実施し、年々参加者も増え、地域の方々だけでなく他の校区の方々も参加されています。ウォーキングを通じ、地域間交流やそれを超えた交流、また、普段ため池と関わる機会の少ない方にもため池を身近に感じてもらうことができ、嬉しく思っています。

今後もこの活動を通じ、ため池を地域の財産として、先人の教えに従い、後世に引き継いでいきたいと思っております。

ナビゲーター 池本 廣希

兵庫大学経済情報学部教授

いなみ野ため池ミュージアム

運営協議会副会長



この先10年も、ホップ、ステップ、ジャンプと飛躍したいので、しっかり10年来の課題と問題点を皆様と共有させていただきながら、ひとつひとつ地道にやっていきたいと思っております。

水があるところにはたくさんの生き物が集まり、そして、たくさんの人が集まります。ため池を親しみ、近い関係になっていけるよう、今後ともいなみ野ため池ミュージアム活動を続けていきたいと思っております。

取り組み開始から10年。

「いなみ野ため池ミュージアム」は、これからもっと成長していかなければなりません。

今後とも、「いなみ野ため池ミュージアム」への引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。